

松王大

町田市立南第一小学校
学校だより
2020年7月31日 第5号

命が羽毛より軽かった時代

校長 清水 淳

終戦3か月前、海軍は特別幹部練習生として1万5千人を超える青年を採用しました。しかし、当時の海軍は既に艦船もなければ航空機もない壊滅状態でした。採用された青年の多くは「伏龍部隊」に配属されました。先端に機雷^(注1)のついた2mの棒を持って海底に50m間隔で潜み、敵の上陸用の船が頭上を通過するとき、手にした機雷付きの棒で船底を突く部隊です。頭上を船が通らなければそのまま海の藻屑となり、一人が首尾よく攻撃できたとしても、爆発の水圧が隣の機雷を誘爆させ、誘爆に次ぐ誘爆で部隊全員が死亡してしまう、およそ作戦と呼べない残酷なものでした。



人間機雷「伏龍」

伏龍部隊に16歳で配属された清水和郎氏が、高校生に講演したときのこと。伏龍の装備や作戦を紹介した途端、高校生たちはゲラゲラと笑い出したそうです、「こんなの漫画だ。あほらしい」と。そんな状況を清水氏は「大いにあざ笑ってもらい、二度と繰り返さないようにしなければならぬ」と大真面目に言います。「死は鴻毛^(注2)より軽し」と繰り返し教えられ、自らの命を懸けた体験談。それへの嘲笑すら平和につなげようとする姿勢に、並々ならぬ決意を感じます。

戦場に送られ凄まじい戦闘にさらされた兵士たちは新型爆弾を待ち望んでいました。敗戦色漂う終戦7か月前、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞の3紙は、見出しに“原子爆弾”という文字を使い、当時の同盟国ドイツ軍が開発した爆弾について「一切の動植物が生存を停止」「大爆風にあつたものは誰でも粉微塵」と一斉に報じました。当時、日本も福島県石川町で地元の男子中学生を使い極秘にウランを採掘し、原子爆弾の開発をしていました。戦場でも、マッチ箱1つで軍艦を沈める爆弾を研究していると噂していたといひます。戦場を含め本土でも空襲の恐怖に怯えていた当時の状況と新聞記事の内容からノンフィクション作家の島本慈子氏は、「もし当時、日本かドイツが原爆投下に成功すれば、日本人の多くは喝采して喜んだのではないか。日本軍の中に原爆の投下を命じられ『そんな非人道的なことはできない』と断るパイロットがいたとは思えない。」と戦争が人々の心をねじ曲げてしまう恐ろしさを述べています。

各都市を実際に爆撃したことがあるパイロットならば日米など国を問わず、爆弾が炸裂した噴煙を見たはずですが、しかし、攻撃が激しければ激しいほど噴煙は煙幕になり、煙の下で逃げまどい苦痛の声を上げている人々の姿は見えません。見えなければ爆撃後の惨状に立ちすくみ、泣き叫ぶ人々の姿を想像することはありません。敵への打撃として数字だけが取り上げられ、数字が大きいほど英雄になる。命が数字に置き換えられている異常さに気が付かない。

島本氏は続けます。「人の死さえ見なければ、戦争は面白い。非日常の冒険に憧れる気持ちは誰にでもあるから、私たちはこれからも戦争の面白さに簡単にはまる。」と。テレビゲームで戦争を題材にしたものが人気を博するのもうなずけます。いや実際の紛争の映像を見ている私たちも同じかもしれません。画面に流れる映像には爆発の瞬間こそあれ、人の死は削除されているのですから。15日後、戦後75年の節目を迎えます。世界で唯一原子爆弾を落とされ、しかも2回も落とされた国として、“人の噂も75日”ならぬ“平和の祈りも75年”と世界から冷笑されないようにしなければなりません。今は“命は地球よりも重い”時代なのです。

(注1) 機械水雷のこと。船が触れると爆発する兵器 (注2) 水鳥の非常に軽い羽毛のこと

8・9月の行事予定

日	曜	行事	まとも
24	月	始業式・避難訓練・引き渡し訓練	×
25	火	朝会、給食始、計測(1・6年) 保護者会(3・4年)	○
26	水	保護者会(5・6年)	○
27	木	計測(3・5年)、保護者会(1・2年)	○
28	金	計測(2・4年) サポートルーム指導始	○
29	土		
30	日		
31	月	委員会	○
1	火	朝会	○
2	水	安全指導	○
3	木	集会	○
4	金	集金日	○
5	土		
6	日		
7	月	眼科検診(1・2・3年) 尿検査一次	○
8	火	朝会、耳鼻科検診(全) 学区緩和制度学校公開・説明会(新1年)	○
9	水	特別時程・午前授業 学区緩和制度学校公開・説明会(新1年) 内科検診(1・2・3年)	○
10	木	集会 歯科検診(5・6年)	○
11	金		○
12	土		
13	日		
14	月	眼科検診(4・5・6年)	○
15	火	朝会	○
16	水	内科検診(4・5・6年)	○
17	木	集会、歯科検診(1・2・3・4年)	○
18	金	運動会係活動	○
19	土		
20	日		
21	月	敬老の日	
22	火	秋分の日	
23	水	全校テスト 教育実習始	○
24	木	集会(全体練習)	○
25	金	運動会係活動	○
26	土	土曜授業(火曜時程) 給食有	×
27	日		
28	月	全体練習	○
29	火	朝会	○
30	水		○
1	木	安全指導	○
2	金		×
3	土	運動会(給食有)	×
4	日		
5	月	振替休業日	



夏季休業期間中の学校閉庁日について

夏季休業期間中の週休日(土・日)、祝日及び学校閉庁日〔8月11日(火)～14日(金)〕は、日直の教員も勤務していませんので、生命に関わる事件・事故等、緊急を要する場合は、警察(110番)又は救急(119番)へ通報をお願いします。

また、学校閉庁日にPCR検査等の検査結果が、陽性又は、濃厚接触者(疑い含む)に指定された場合は、町田市教育委員会 保健給食課に御連絡をお願いします。(042-724-2177)

8月の保護者会、9月土曜授業について

以下のとおり保護者会を行います。なお、密接を避けるため、授業参観は行いません。

- 1、2年生対象保護者会
8月27日(木) 14時50分～
- 3、4年生対象保護者会
8月25日(火) 14時50分～
- 5、6年生対象保護者会
8月26日(水) 14時50分～

※全学級、各教室で実施します。

※お履物の準備をお願いします。

※保護者会への参加は、密接を避けるため、各御家庭1名までとさせていただきます。

林間学校(6年)、移動教室(5年)について

新型コロナウイルス感染症の流行拡大を鑑み、児童への感染を防ぐため、町田市内の全公立小学校において、

林間学校(6年)は、11月以降へ延期

移動教室(5年)は、中止

となりました。6年生の林間学校については、10月上旬に町田市教育委員会と共に再検討することとなりました。

健康観察のお願い

これまで健康観察の御協力ありがとうございました。8月以降も引き続き、検温・健康観察の御協力をお願いします。

欠席等連絡フォームの利用について

2学期より欠席等の情報を一元化し、学校全体で感染症等の流行の兆しを捉え、予防等に活用するため、インターネットによる欠席等連絡フォームを本格的に導入します。

これまで、連絡帳及び電話・FAXを使用してきましたが、欠席・遅刻・早退等の連絡については、連絡フォームを御利用ください。

専用URLは、後日、すぐメールにてお知らせします。

学校便りや学年便り等は、本校ホームページからも閲覧することができます。